

3月末まで限定販売！

## 「ガザ緊急支援クッキー」販売にご協力ください

パレスチナと仙台を結ぶ会 (Tel. 022-251-3106)

パレスチナ・オリーブ (Tel&Fax. 022-343-8754)

障害者作業所コッペ (Tel&Fax. 022-299-1279)

昨年末以来、イスラエルはパレスチナ自治区ガザを攻撃して 1300 人を超える人々を殺し、5000 人もの人々を傷つけました。また、約 4000 軒の家を全壊させ、16000 軒を部分損壊させています。

すでにイスラエルは約 3 年間に渡ってガザ地区を封鎖し、そのためにガザでは食糧・医薬品・燃料が不足し、電気・ガス・水等も慢性的に不足していました。

その上に今回のイスラエルによる攻撃で、ガザの多くの人々が生活を破壊され、近親者を死傷させられ、子どもたちの間に栄養失調が広がり、きわめて困難な状況に置かれています。

「パレスチナと仙台を結ぶ会」は、イスラエルの攻撃が始まってから、これを止めるために全力を尽くしてきました。そして、1月18日に停戦がなされて以降は、ガザ地区の人々・子どもたちの生活を再建するための支援策を模索してきました。

その結果、このたび「コッペ」との共同の下に「ガザ緊急支援クッキー」を商品化し、これを販売することを決めました。

これまで「コッペ」では、「パレスチナ・オリーブ」がパレスチナから輸入したオリーブ油を使って「オリーブオートミールクッキー」を開発・販売してきました。今回商品化したのはこのクッキーの特別版で、販売価格500円のうち200円をガザへの支援金とするものです。

なお、支援金の送り先は、ガザ地区で唯一のろう学校でありガザの障害者を支援するセンターとしての役割を果たしている「アトファルナろう学校」です。

「アトファルナろう学校」へは、「パレスチナと仙台を結ぶ会」が 2002 年より毎年中学・高校生や市民からのカンパを集めて送金し、子どもたちへの給食提供を支援してきました。今回は、給食提供にとどまらず、ガザの人々、特に障害者の生活再建を支援するために活用してもらいます。

現在ガザ地区には国際的な支援が入り始めていますが、私たちは市民のレベルで、支援の手が届きにくいガザの障害者とその家族を支えるために力を尽くして行きたいと考えております。

以上の趣旨を踏まえ、「ガザ緊急支援クッキー」販売にぜひご協力ください。なお、ご注文は「パレスチナ・オリーブ」が窓口になりますが、「パレスチナと仙台を結ぶ会」または「コッペ」までご連絡いただいても結構です。送料は実費をお客様に負担していただきます。

どうぞ、よろしく願いいたします。

手作りのクッキーでパレスチナ自治区ガザ支援を―と、仙台市の市民グループ3団体が協力して「ガザ緊急支

## ガザ地区のろう学校支援

# 手作りクッキー販売

### 仙台の3市民団体



パレスチナ支援を訴え製作されたクッキー  
パレスチナと仙台を結ぶ会提供

援クッキー」の販売を始めた。1袋500円で販売し、うち200円をガザ地区のろう学

校に寄付する。クッキーは、同市宮城野区松岡町の障害者作業所「コッペ」（飯

嶋茂所長）が製作。同市若林区の「パレスチナ・オリーブ」（皆川万葉代表）が輸入したパレスチナ産オリーブオイルをバター代わりに使用する。収益はパレスチナと仙台を結ぶ会（石川雅之代表）が2年から支援を続ける「アトアアルろう学校」への寄付となる。コッペは「障害があってもなくても一緒に働ける能率最優先でない社会」を目指すパンとクッキーの工房。パレスチナ女性の自立や地域再生を目指すパレスチナ・オリーブの理念に共感、これまでも同団体が輸入したオリ

ーブオイルを使っていた。昨年末からのイスラエル軍によるガザ地上侵攻をニュースで知り、飯嶋所長が石川代表に「何が役立たないか」と相談。パレスチナ産オリーブオイルを使ったクッキーによる寄付集めを思いついたという。石川代表は戦争の被害は弱い人に集中する。日本からの寄付を、ガザの人たちや障害者の生活再建のために活用してもらいたい」と話している。問い合わせは、パレスチナ・オリーブ（☎022・343・8754）か、コッペ（☎0